

第2回日本語ボランティア研修会が開催されました

(参加者 37 名)

中村松男（日本語教室部会）

今年度2回目の研修会が11月19日開催されました。

講師は文化庁『スタートアッププログラムアドバイザー』として全国各地で日本語教育人材育成の講師としてご活躍の吉田聖子先生です。テーマは『外国人施策の動向、文字と語彙の扱い方と子供を飽きさせないボランティア活動』

ご説明の概略は以下の通りです。

1. 政府の施策「外国人との共生社会の実現に向けたロードマップ」が策定されており、その中で重点事項の第一とされている日本語教育について、法律などにより自治体と雇用する会社の支援が決められたこと、国民の理解と関心を進めること、日本語教育の体制強化などの基本方針が定められている。
2. 在留外国人のライフステージに応じた地域日本語教育の重要性が高まっている中、日本語ボランティアへの期待が大きい。
3. 日本語のひらがな・カタカナと漢字の特性や違い、一部の語彙については人によって使い方・意味が違う場合があるなど注意すべき。
4. 子どもを教える活動については、子どもの発達・成長の速さ、ひとりひとりの違いの大きさ、子どもと保護者の意向が違う場合もあること、保育園・幼稚園・学校のそれぞれの独自性等、教材の工夫などに留意すべき。

また、教材については、最新のウェブサイトとアプリを教えていただき、「みんなの日本語 初級Ⅰ」の改訂のポイントも解説していただきました。

盛りだくさんのテーマについて、グループ討議を交えながら、凝縮された説明と事例紹介、質問への丁寧な指導をしていただき、中身の濃い3時間半となりました。

日本語ボランティア養成講座を受講中の方々も6つのグループに入り、先輩方の経験などを聞き、参考にされた様子でした。



